



カトリック長崎大司教区 広報委員会 長崎大司教館内 Tel. 095-843-3869 Fax 095-842-4460 振替口座 01880-5-2699 発行人 山田良秋 印刷所 株式会社 インテックス

祈りの意向 教皇 関係が壊れてしまった家族が、たとえ遠くがあっても、ゆるし合うことで互いの賜物を再発見し、傷を癒やすことができるように。性虐待被害者の受けた心と体の傷が癒やされ、神との交わりの中で生きる希望を見いだすことができるように。

希望の巡礼者—2025 聖年

バチカン「聖なる扉」開く、浦上教会で開幕ミサ

2024年12月24日(火)、バチカンの聖ペトロ大聖堂で降誕祭の夜半のミサが行われた。はじめに、教皇フランシスコは同大聖堂の「聖なる扉」を開かれ、これにより「希望の巡礼者」をテーマとする2025年の聖年が開幕した。聖年は2026年1月6日(火)、主の公現の祭日、同大聖堂の「聖なる扉」が閉じられるまで続く。(バチカン・ニュース)



写真は上の段から...①中村大司教によって司教座聖堂の扉が開かれる②被爆十字架の開示③約700人が集まったミサ

中では被爆十字架の開示、被爆十字架と祭壇への献香、聖水による灌水が行われ、美しい聖歌の歌声が響く中、大きな希望のうちに祈りがさげられた。

希望を示す被爆十字架

被爆十字架が開示された際に、中村大司教は次のように語った。「この十字架を祭壇横に顕示します。裂かれたパンが示しているのは、イエスの十字架であり、その十字架は御父への愛からくるイエスの従順のいけにえです」(教皇フランシスコ使徒的書簡「わたしはせつに願っている」)

昨年12月29日(日)14時。参加者ははじめに浦上教会信徒会館に集い、中村倫明大司教の招きの言葉によって聖歌を歌いながら聖堂に向けて巡礼行列をし(右下の写真)、聖堂正面の扉の前に集まった。その後、大司教によって司教座聖堂の扉が開かれ、司教・司祭団、修道者や信徒ら多くの人々が扉から入堂。入堂後は皆が見守る

信徒発見の年から160年になります。ちょうど中間の80年前の1945年には、長崎に原爆が落とされました。長い迫害が終わっても、原爆によって長崎の地は焼け野原となつてしまいました。(旧)浦上天主堂も倒壊し、天主堂正面に掲げられていた十字架のキリスト像は、壁面に残りはしたものの損壊してしまいました。この被爆十字架を今回の聖年の期間、この場に顕示いたします。

「すべての人は希望を抱きます。明日は何が起るか分らないとはいえ、希望はよいものへの願望と期待として、一人ひとりの心の中に宿っています。けれども将来が予測できないことから、相反する思いを抱くこともあり。信頼から恐れへ、平穏から落胆へ、確信から疑いへ。わたしたちはしばしば、失望した人と出合います。自分に幸福などたらしうるものなど何もないかのように、懐疑的に、悲観的に将来を見る人たちが。聖年が、すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように」

大司教は続けた。「以上の教皇様のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)



大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

大司教は続けた。「以上のお言葉を使うと、教会というところは、信頼の場です。教会は、安らぎ平穏な場です。教会は確信の場です。なのに、今のわたしたちは、信頼よりも恐れの方が、平穏よりも落胆の方が、確信よりも疑いの方が多くなり、悲観的になっていくことの方が多いかも知れません。(中略) こういう中で、わたしたちは、一度、『主はともにいてくださる』このことを、まず何よりも確認していきましよう。(中略)

原爆によって倒壊した旧浦上天主堂正面入口にあった十字架上のキリスト像が、昨年12月29日の聖年開幕ミサの時から、浦上司教座聖堂内陣の祭壇横に設置されている。聖年期間中、司教座聖堂には歴史的、芸術的、信心の観点から、教区で重要な意味を持つ十字架を、信者の崇敬のために置くことになっているからだ。▲原爆で激しく損傷した、この十字架上のキリスト像は、2020年11月、浦上信徒会館の原爆遺物展示室新装時に、鋼鉄製の十字架に固定して再現したもの。このイエスさまが、観光や巡礼で訪れる多くの方々に、原爆の悲惨さと平和の尊さを訴え続けてきた▲それでもこの十字架を聖堂内に移設したのは、大司教様の強い意向によるもの。聖年のテーマである「希望」と被爆80年における「核なき世界実現」のためにも、この十字架は目にするだけで、誰にでも一番よく福音を伝えてくれると▲毎朝浦上のミサに来るご夫婦が言う。「これまでも分らずにいたが、あの十字架を見て初めて、『あがない』とか『いけにえ』という意味がピンと来た」▲「希望はまさしく愛から生まれ、十字架上で刺し貫かれたイエスのみ心からわき出る愛がその根本」(教皇フランシスコ「希望は欺かない」) ▲十字架から多くの人が、「安定した錨」のような希望の力を汲み取り、「主キリストの手足」「希望のしるし」となることを願う。(健)

4月27日、城山教会で記念ミサ開催 カトリック障害者連絡協議会ながさき 「カ障連ながさき」の設立について

会長 藤本善一
(浦上教会所属)

長崎で初めてカ障連全国大会が開催されたのは、昨年(2023年)の10月のことでした。このとき私は、長崎教区にはまだ障害者が交流・活動できる場がほとんどないことを痛感しました。そこで私自身をはじめ、大会に参加した障害者も当事者が中心となって声を掛け合い、長崎でもそのサポートを行うための団体を立ち上げようという機運が高まったこと

から設立を決定し、教区福祉委員会のご協力もいただきながら準備を進めてまいりました。設立にあたっては、次のような目的を掲げています。「本会はキリストの愛に根ざし、障害者をもつ人もたない人も、すべての人が支え合い、ともに歩むことができる教会共同体づくりを目的とする。ひいてはそれが宣教

の熱意となり、社会の福祉化へ寄与することを希望する。」
具体的活動としては、教会のハード面および心のケアフリーに関するアンケート、さまざまな情報発信、障害者のついでや黙想会の開催などを考えています。また本会は、日本カトリック障害者連絡協議会の加盟団体として、全国とのネットワークづくりも

カ障連ながさき 設立記念ミサ

日時 2025年
4月27日(日)14時

場所 城山教会

どなたでもご参列いただけます(事前申込不要)

小バジリカ・大浦天主堂

今年2025年は「聖年」「信徒発見160年」「被爆80年」



像や実際の書簡などをご覧いただき、まだ公開していない書物などもございます。

昨年、プティジャン司教帰天140年の記念の年を迎え、大浦天主堂キリシタン博物館での企画展や同天主堂での記念コンサートに、たくさんの長崎教区の信徒の皆様においでいただき、感謝申し上げます。

よく知られている「大浦天主堂」ですが、この企画展を訪れた方々は初めて知ることあったよう、たくさん喜びの感想をいただきました。映

像や実際の書簡などをご覧いただき、まだ公開していない書物などもございます。

今年、「聖年」「信徒発見160年」「被爆80年」の節目の年でもあります。1300年から始まった聖年ですが、1800年と1850年には開幕していない歴史があります。パリ外国宣教会の神父様方にとっても、おそらく初めて体験する1875年の聖年を、信教の自由が許された信徒と共に、熱心に祈ったことでしょう。当時記されたプティジャン司教様の聖年の書簡などが残されています。ま

た今から50年前、観光客の多さで妨げられていた典礼が出来るよう、大浦教会を建設し、ご聖体もそちらに移しました。大浦天主堂では折れない「この声も聞きます。アナウンスが無くなれば、違う意味でぎややかなることも予想されます。あらゆる小バジリカ(希望は欺かない)二〇二五年の通常聖年公布の大勅書(参照)の一つである大浦天主堂も巡礼場所となつていきますので、静かに祈りができる部屋を確保いたしております。

大司教館への移転完了

カトリックセンターへの感謝とともに

カトリックセンター閉館に伴う感謝ミサ

長崎大司教区の法人事務所や教区本部事務局などは、カトリックセンター(長崎市上野町10番34号)から長崎大司教館(長崎市橋口町1番1号)への移転を、この1月16日(火)に完了しました。

法人事務所(会計事務所)と教区本部作業室は大司教館1階に、教区本部事務局、生涯養成委員会、広報委員会は同2階に入り、2月から新しい場所での業務を開始した。1階に置かれた総合受付(電話095・843・4188)は、毎日8時から18時まで対応する。



2024年度 第2回臨時司教総会

昨年12月12日(木)、東京・日本カトリック会館で2024年度の第2回臨時司教総会が開かれた。臨時司教総会が開かれた。臨時司教総会が開かれた。

主な報告事項

▼シノドス(世界代表司教会議)第16回通常総会第2会期が2024年10月2日から27日までバチカンで開かれた。日本から参加した3人のうちの1人、菊地功輔機脚が参加報告を行った。今回のシノドス後には教皇の使徒的勧告は発表されず、シノドス最終文書がそれに代わる。最終文書が示したことを各国の教会が実施し、報告することが求められており、日本では現在設置されている「シノドス特別チーム」が継続してそのための検討を続ける。

主な審議事項

▼「創造の神秘」の祝日を典礼暦に加える署名に参加。教会は2015年から、9月1日を「World Day of Prayer for Creation(日本では9月の第1日曜日を「被造物を大切に作る世界祈願日)」と定めて祝っている。

予算案承認

▼25年度司教協議会年間活動方針として、主に以下のことが報告された。①福音宣教を推進する②新しいミサの典礼書、その他儀式書の普及③災害や事故の犠牲者・被災者を始め助けを必要とする人々を支援する④平和といのちを守る⑤司牧・生涯養成の継続⑥中央協議会の運営および業務遂行。

聖年に行く ローマ・アッシジ・ルルド巡礼

期間 2025年9月1日(月)～9月13日(土)
代金 733,000円(35名以上)
※燃油サーチャージ・各国諸税は含みません
同行司祭 高見 三明 名誉大司教(カトリック長崎大司教区)

2025年の聖年のテーマ「希望の巡礼者」はわたしたちに出かけることを促しています。この旅が神様のご計画と世界の出来事にわたしたちの心を開く励みとなり、神の民として歩み続ける勇気を願う機会となるよう願っています。

カトリック長崎大司教区
大司教 ペトロ中村倫明

企画 カトリック長崎大司教区 手配 有限会社アミタイトラベル
旅程などの詳細は各小教区へのご案内をご確認ください

世界平和へ祈りを...
明治石材
長崎本店 長崎市長栄町13-1
大村店 大村市赤佐古町287番地
HP http://meijisekizai.shopinfo.jp
業務内容
お墓建立
納骨堂販売
お墓のリフォーム
霊名彫刻
電話 (095)846-3598
電話 (0957)50-3008

タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)
24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00
水浦運送
シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)4847-7151
携帯 090-7923-9005
貨物保険有り
・一般引越
・小荷物
・遠距離
・荒ゴミ捨て
・学生引越

カリス通信 3月号
カトリック幼稚園・保育園児傷害補償制度のご紹介
カリスでは「幼稚園」「保育園」「認定こども園」を運営されている各施設向けに、「カトリック幼稚園・保育園児傷害補償制度」をご案内しております。園の賠償責任に関する補償と、保育中の園児のおケガに対する補償をご提供します。
補償内容1: 園の損害賠償に関する補償
下記のような事故で、園が法律上の損害賠償責任を負うことにより被る損害を補償します。
・施設の欠陥や管理不十分および業務遂行による事故
・給食による食中毒など園が提供したものに起因する事故
・預かった財物の損壊、紛失、など
補償内容2: 保育中の園児のケガに関する補償
園の管理下における偶然な事故による園児のケガ、熱中症による入院、通院を補償します。万一、死亡や後遺障害となった場合も対象です。「加入タイプ」は3通りご用意しています。0-157などの特定感染症を対象とするタイプも選択いただけます。ご希望により教職員も補償の対象にすることができます。園を運営されている各施設の皆様、ぜひこの機会に加入をご検討ください。
※本ご案内は「施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・受託者賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険」についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、パンフレットおよび各保険の「重要事項説明書」をよくお読みください。
私たちが、大澤阿紀子 大西見 毛利玲子
お守りします。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)

カトリック共済システム 検索 24TC-006504 (2025年1月作成)
引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社
リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

神の御計らいによつて(ダニエル1:9)

今年2025年に司祭叙階の節目(金祝・50周年、銀祝・25周年)を迎える司祭は長崎教区に3人。大阪高松大司教区の...

金祝

御陰の下で

ペトロ 松下光男神父



「あなたは司祭になりませんか」大阪の小さな町工場で働いていた時、門真教会の司祭から声をかけられました。

「あなたは司祭になりませんか」大阪の小さな町工場で働いていた時、門真教会の司祭から声をかけられました。

50年(今からでも)

ドミニコ 小瀬良明神父



司祭生活50年すべてが順風満帆であったとは言い難いものがあります。

四苦八苦、紆余曲折の連続であつたようです。迫害時代の司祭は伴天連と呼ばれ、知行合一を通して信徒を天国へ導く者でした。

銀祝

25周年にあたり

ミカエル 竹内英次神父



長崎を離れて早20年、放蕩息子はいつになつたら帰ってくるのだからかと思ひの御陰の大本...

「あなたは司祭になりませんか」大阪の小さな町工場で働いていた時、門真教会の司祭から声をかけられました。

司祭叙階を前にして

感謝と喜びを申し上げます。

ボナベントウラ 洪燦基 助祭



日ごとに春の訪れを感じるようになってきました。長崎大司教区の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

物にかざすのは、日陰を作るためと語られていました。神様の恵みが注がれるように手で陰を作りだすのが司祭の役目。

叙階・選任式

司祭・助祭叙階式

3月20日(木)10時30分 浦上教会

司祭叙階受階者 ボナベントウラ 洪燦基(浦上) 助祭叙階受階者 トマ 廣田学(鹿子前)

選任式

2月24日(月)11時 太田尾教会

朗読奉仕者受任者 ベルナルド 森 翔真(太田尾)

聖香油ミサ[司祭の日]

4月15日(火)10時30分 浦上教会

奉献生活者のためのミサ

「人事異動・任命」に関してお知らせ

2月1日(土)10時30分、中村倫明大司教の主司式のもと、奉献生活者のためのミサが浦上教会で行われた。

方々に、案内状を出すことができました。この紙面を借りて、恩人の皆様に感謝とお詫びを申し上げます。

たしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている(ヨハネ10:14)と教えます。司祭叙階の恵みの中で、最も幸いな恵みは、ミサの執行ができるようになることだと思ひます。

カトリック長崎大司教区 生涯養成委員会主催 2025年度 カトリック講座のご案内

2025年は聖年・信徒発見160周年・被爆80年・教皇訪日6周年と豊かな記念の年となっています。本年の講座に参加して下さる皆様より豊かな聖年を歩むことができますよう委員会一同心よりお祈りいたしております。

土曜日 午前10時30分~11時30分 ★公開講座のみ午前10時~12時、浦上教会で行われます。 テーマ:豊かな聖年をあゆむため 信徒発見 平和 教皇訪日6周年

Table with 4 columns: 月日, 講師, 内容. Rows include dates from April to September with speakers like Mitsumasa Yamashita and Chan-ki Hong.

- ◆場所 大司教館3階第1会議室 または オンライン受講
◆受講料 5,000円(全10回分) *聴講可能(1回1,000円)
◆申込先 カトリック長崎大司教区 生涯養成委員会
申込期限 2025年4月10日(木) ※オンライン受講は随時受け付けます。

教区典礼委員会主催「大人の侍者会」

心構え、所作の意味学ぶ

1月13日(月・祝)、教区典礼委員会主催による第1回「大人の侍者会」がカトリックセンターホールで開催された。

長崎地区をはじめ五島・平戸・佐世保の小教区からも多くの信徒、司祭の参加があり、集まった約200人が、講師の嘉松宏樹師(長崎教区)から、典礼、特にミサの中での侍者の心構え、所作の意味などを学んだ。参加者の中には、司祭、侍者をする方ももちろん、こ



教区エキユメニズム・諸宗教委員会も関わる

長崎キリスト教一致礼拝

キリスト教一致祈禱週間(毎年1月18日~25日)にあたり、長崎キリスト教協議会とカトリック長崎大司教区は1月19日(日)、14時から中町教会で長崎キリスト教一致礼拝を行った。教区エキユメニズム・諸宗教委員会も関わるこの礼拝には、司祭と牧師ら計12人と信徒ら約100人が参加した。テーマは「あなたはこのこと



を信じますか」(ヨハネ

教区青少年委員会が呼びかけ

年明けのスポーツ大会

教区青少年委員会は毎年、年明けの行事として青年のスポーツ大会を行って



行っている。スポーツが苦手な人は応援者として参加し、また既婚者も参加できるこの大会は、今年1月12日(日)13時から大司教館の体育館で行われた。今回は40人近くが参加する予定だったが、当日突然の雪や体調不良などのためにスポーツには司祭6人、青年24人が参加した。

教区青年のための黙想会

テーマ「如己愛人—隣人を自分のように愛しなさい」(マルコ12:31)

2025年3月9日(日)10時30分~16時(集合10時)メイン会場は大司教館です。佐世保・平戸地区は大司教館に、上五島地区は青方教会、下五島地区は福江教会にお願いいたします。

講師 永井徳三郎氏(永井隆記念館館長)対象 18~40歳くらい(高校生不可)参加費 1,000円

自分を与えていく者に

下五島地区合同堅信式



1月19日(日)下五島地区合同堅信式が、中村倫明大司教の司式により、福江教会で行われた。堅信の秘跡を受けたのは、中学生11人と大人2人の計13人(福江6、浦頭3、三井楽1、貝津1、水ノ浦1、奈留1)で、約250人が集まった。

長崎地区の教会でも

長崎地区内の教会でも、中村大司教の司式により堅信式が行われた。昨年12月15日諫早教会で6人中学生4、大人2、1月12日浦上教会で19人(浦上教会の中学生13、長崎カトリック神学院の中学生1、大人5)、1月26日水主町教会で中学生3人、2月2日日本原教会で6人(中学生4、大人2)、2月9日城山教会で中学生3人がそれぞれ堅信の秘跡を受けた。

短信

司祭団マラソン

1月28日(火)下五島で開催予定だった司祭団マラソン大会は、当日荒天のため船が欠航し、中止。集まる事ができた人たちで急ぎ、市民体育館でソフトバレーを行った。

お知らせ

お祈りください

4月2日(水)小学生と中学生(旧学年)を対象とした2025聖年「子どもの集い」が、浦上教会などを会場に開催されます。教区信仰教育委員

樽角シヅ工修道女

お告げのマリア修道会



昨年12月28日逝去。83歳。1941年五島市生まれ。62年初誓願、75年終生誓願。

17歳で水ノ浦修道院に入会し、調理師として主に上・下五島の保育園や鯛之浦、三ツ山教会の司祭館で奉仕した。

保育園では野菜嫌いな子どもたちが喜んで食べるよう自ら野菜を作り、試行錯誤しながらおいしい給食を提供し、教会では信者や巡礼者に声をかけ、神さまの愛を伝えることを使命とした。

晩年は複数の病気を抱え多くの苦しみをささげ、聖年の幕開けを迎えた中、希望のうちに御父のみもとに旅立った。

葬儀ミサ・告別式は12月29日、楠原教会で行われた。

マリア

橋口キメさん

(故橋口朝光師の母)



1月5日、老衰のため自宅で逝去。96歳。

1928年長崎市(旧外海町)に生まれ育ち、結婚後恵まれた10人の子どもを、「さあ、祈りばしゅうで」と声をかけ、共に祈り、信仰に導きながら育て、1人の司祭のルチア

眞浦キヌ工修道女

お告げのマリア修道会



1月9日逝去。95歳。1929年新上五島町生まれ。58年初誓願、67年終生誓願。

17歳で仲知修道院に入会し、約30年間、長崎教区神学院で神学生の養成を陰で支えた。当時、100人を超す神学生の食事、洗濯を気持よくこ

カトリック城山教会 慰めの聖母墓地



所在地 長崎市西町366番地 駐車場4台分あり
納骨堂 1基90万円 区画:120cm×120cm
納骨室 1室70万円 骨壺の大きさ 幅18cm・高さ21cm以下
※上記いずれも管理費1区画3,000円/年。
共同納骨室「ラザロの家」条件あり(無縁者、墓じまい)
1壺10万円 骨壺の大きさ 幅18cm・高さ21cm以下
※上記は永代使用権料。諸費用5,000円。

毎年5月にロザリオの集い・11月に追悼ミサが墓地で行われます。
毎月第3日曜日にお墓の相談会を城山教会信徒会館で実施しています。

カトリック城山教会 慰めの聖母墓地管理委員会
〒852-8023 長崎市若草町6番5号 TEL 095-844-9208

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ドミニコ 溝口悦雄
〒858-0926 佐世保市大湯町511番地3
TEL(0956)47-4380

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 大島和彦
(〒850-0811)長崎市矢の平1丁目14番15号
宮長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8488